

Contents ▶

1 ごあいさつ

2 センター構成員一覧

1 ごあいさつ

大学教育開発センター長

心理・教育学系教授(大学アドミニストレーション研究科) 山本 眞一

学内外の皆様、日頃より当センターの活動へのご理解・ご支援を賜りありがとうございます。

当センターは、①大学院を含め本学の授業の内容および方法の改善のための組織的な研修および研究を支援・推進すること、②本学の教育研究活動の状況を明らかにして、広く国内外の理解と支持を得るための諸施策を支援・推進すること、を目的として2008年度に設置されました。その後、2012年度に大幅な改組を経て、現在のような体制になりましたが、この間、授業改善に関することや職員の能力開発のあり方などさまざまなテーマによる研修会を行い、また本学の現状や課題を明らかにするためにFact Bookなどの各種の刊行物を作成してきました。近年よく耳にする大学改革に関するキーワードでいえば、FD（教員の能力開発）、SD（職員の能力開発）、IR（Institutional Research: 大学経営のための情報・データ分析）の三つの活動を通じて、本学の教育改善・改革に寄与するよう努めてきたのです。

ご案内の通り、わが国の大学を巡る諸環境は、グローバル化、知識基盤社会化、18歳人口の減少などの中で厳しさを増しています。社会の変化そして学生の新しいニーズに合った教育を提供することはもとより、私学の定員割れが4割以上にも及ぶ昨今、十分な志願者を集めて教育を行うことは、大学経営の安定のみならず、教育を通じた大学の社会貢献をしっかりと果たすためにも必要不可欠なことです。それには、教育内容・方法の抜本的改善・改革、入学、学修そして就職までに渡るきめ細かな学生支援・サービスの充実、教職員の能力開発の推進など、さまざまな側面での改革を各大学が行う必要があります。本学についても決して例外ではありません。

私もセンターの構成員は、以上のような情勢をしっかりと踏まえつつ、本学のすべての皆様とともに、教育改善・改革のためのさまざまな課題に取り組むべく努力をいたします。また、学外の皆様も当センターの活動をご覧になることにより、ご自身の組織の運営や改善・改革に参考になることも多いかと存じます。すべての方からの幅広いご支援をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。



2 センター構成員一覧

センター長	山本 眞一	(心理・教育学系 大学アドミニストレーション研究科)
FD / SD 部門主任	鈴木 克夫	(心理・教育学系 大学アドミニストレーション研究科)
研究員	中島 吉弘	(人文学系 リベラルアーツ学群)
同	阿部 温子	(法学・政治学系、リベラルアーツ学群)
同	石渡 尊子	(心理・教育学系 健康福祉学群)
同	下島 康史	(経済・経営学系 ビジネスマネジメント学群)

同	石川 将史	(人事課)
同	松ノ下 昭人	(教育支援課)
IR部門主任	藤田 晃	(経済・経営学系 ビジネスマネジメント学群)
研究員	藤川 まなみ	(総合科学系 リベラルアーツ学群)
同	有賀 清一	(総合科学系 ビジネスマネジメント学群)
同	井上 久	(経理課)
同	糸川 二郎	(情報システム部)
同	増田 優太	(学生生活支援課)
同	和久田 史佳	(入試事務室)
客員研究員	兼田 麗子	(国際学研究科特任准教授)
研究員	鳥居 聖	(法人本部付部長)

＜大学教育開発センター 学内シンポジウム＞のご案内

アメリカ高等教育機関の今

ーハーヴァード大学での経験からー

日 時：2015年7月23日（木）16：20～17：40

場 所：桜美林大学町田キャンパス 崇貞館6階 H会議室

講 師：大中 真（人文学系／リベラルアーツ学群 准教授）

世界中の各大学は地球規模での運営展開に鎬を削っており、本学もその渦中にある。世界大学ランキング上位20校のうち15校がアメリカの大学であることに象徴されるように（Times Higher Education, 2014-15）、同国での大学の研究、教育、海外展開戦略は大学関係者やメディアから常に注目されている。

報告者は、2014年4月から2015年3月まで本学より特別研修の機会を与えられ、ハーヴァード大学に訪問研究員として滞在したが、その経験をもとに、アメリカの高等教育機関の今について、考えてみたい。もとより報告者は高等教育論の専門家ではないが、現地で得た知見が何らかの形で本学の今後の参考になれば幸いである。

講師略歴：1968年東京都生まれ。学習院大学法学部政治学科卒業。学習院大学大学院政治学研究科博士後期課程修了、博士（政治学）。一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士（法学）。上野学園大学専任講師を経て、2001年に桜美林大学着任。国際学部専任講師を経て、現在人文学系リベラルアーツ学群准教授。この間、2004年から2005年にかけてオクスフォード大学セントアントニーズ・コレッジ上級客員研究員（新渡戸フェローシップ）。

2014年から2015年にかけてハーヴァード大学歴史学部訪問研究員（桜友会フェローシップ）。ハーヴァードでの研究テーマは「アメリカ国際法学会の誕生とカーネギー国際法古典叢書の刊行に関する研究」。

申込方法：表題を「学内シンポジウム申込」とし、氏名・所属組織を明記して大学教育開発センター（fdcenter@obirin.ac.jp）までメールにてお申し込み下さい。なお、会場の収容人数の関係で、満席になり次第締め切らせていただきますので、早めにお申し込みください。

問合せ：桜美林大学 大学教育開発センター E-mail：fdcenter@obirin.ac.jp

編集発行：桜美林大学 大学教育開発センター

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758 桜美林大学 其中館1階 101 TEL.042-797-2918 FAX.042-797-6398

E-mail：fdcenter@obirin.ac.jp Web：<http://www2.obirin.ac.jp/fdcenter/>